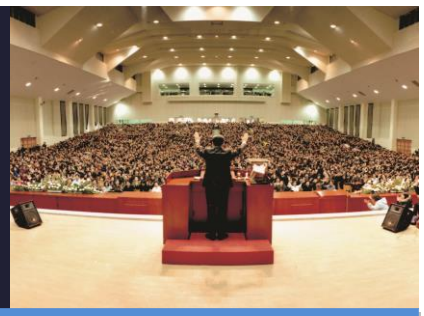
第 2019-21 号

恵みと真理のニュース



2019 年 05 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

暗くて冷たいこの地の上に明るい灯火を照らして真の真理を教える美しい恵と真理教会、感謝と賛美で充満な恵ある我が教会

私はソウルで住む時、ある勧士から伝道され２０台半ばからイエス様を信じる生活をはじめました。はじめて教会に行ったその日から１０年間、神様は恵みを与えてくださり私を見守ってくださる慈しみ深い神様でした。私が救いの確信がなくて祈りをする時、神様が夢を通して啓示を見せてくださり、わたしの信仰を固くなるようにしてくださいました 。礼拝を捧げるとき胸が熱くなって外に出たら神様が創造した満物がきらきらして、全ての被造物が神様に向って歌っているようでした。その日、私が目で見て感覚で感じられた自然の姿は言葉では表現できないくらいでした。全能なる神様が乳癌にかかった姉を癒してくださいました。だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましょう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。「わたしたちは、あなたのために／一日中死にさらされ、／屠られる羊のように見られている」と書いてあるとおりです。
しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。
その後、わたしを練達する神様の摂理を経験するようになりました。人生の荒野が私を待っていました。神様はローマ書８章３５節の以下の御言葉で私をあらかじめ守ってくださいました。結婚して 京畿道のアンヤン市に引越して家にある教会を仕えながら結婚４年目にクンポ市に新しいアーパトで入居して教会を移しました。教会が新しい聖殿を建築をしてとても喜んで教会を愛し仕えて従順しながら問題が出来て教会を移しました。すると、今回は教会の担任牧師が急に天に召されて他の地域に引越しをしました。
 そのごろ旦那がが投資した事が滅ばれて住んでいた家を処分するようになりました。経済的な問題で教会生活が私に慰めと平安を与えてくれませんでした。それで、私は“神様！御言葉と愛が充満な教会と平安で固く建っている教会で幸せな信仰生活をするように導いてください。そして、私たちの家庭の経済が回復するようにしてください。神様、助けてください。と神様に祈りを捧げました。神様の恵みで恵と真理教会に通う友達に伝道され２００４年にわたしの家族は 恵と真理教会の聖徒になりました。
“疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。 わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」（マタイの福音書１１：２８～３０）”
その時から当会長の牧師の説教を聴き、私は御言葉で充満な恵の中で生活をしました。わが教会は月曜祝福祈り会、水曜礼拝、金曜礼拝、区域礼拝をはじめ礼拝と祈り会が多かったです。神様の恵みではないと生きられなかったので私は礼拝に行くたびに教会に走りました。“神様、私が来ました。”と泣きました。礼拝が多くて本当に嬉しかったです。耳を傾けて切実な心で祈る時は神様が慰めてくださり新しい力を下さって心が平安で大胆になるようにしてくださいました。主が私を愛し私と共にしてくださるのを感じて感謝し賛美しました。
月曜祝福祈り会で聖霊の洗礼を受けました。当会長の牧師の説教御言葉が蜂蜜よりもっと甘かったです。癒しの祈り時間に肉体が健康になり活力が出来ました。礼拝中心の生活を通して主と共に同行する人生の楽しさを思い切り享受するようになりました。
その昔、雨が降ると玄関の靴が水の上に浮かぶのを見ながら“主よ！雨がたくさん降るといけないです。神様に祈りました。蚊に最適な所がとこかその時、初めて知るようになりました。冷たい風で凍った両ほっぺたの模様が赤い熟柿のようだったのも知りました。前後左右どこでも誰もいなかったです。ただ主だけおられました。それでたくさん泣きました。しかも、神様に不平を言わなかったです。神様が下さった恵が大きかったからです。聖徒に当然あるべきことは何でしょうか。私が受けた全てが神様の恵みであることを知りました。
私が持っている財物がなくても妻と母と娘として存在感または全てを勝つ力になり、神様に感謝する十分な理由になりました。イエス様を信じない兄弟達が“あなたの神様がどこにおられるのかと聞くなら共におられる主を私は日々会っていると答えています。暗いトンネルの中を通り過ぎるような状況で私は春は吹く風にも泣いて、夏は青い色を見て泣いて、秋にはもみじで泣き、冬はまた白い雪で泣きました。そのように主の前で数年間泣きました。
“翌朝早く、彼らはテコアの荒れ野に向かって出て行った。出て行くとき、ヨシャファトは立って言った。「ユダとエルサレムの住民よ、聞け。あなたたちの神、主に信頼せよ。そうすればあなたたちは確かに生かされる。またその預言者に信頼せよ。そうすれば勝利を得ることができる。” 歴代下２０：２０）
私たちの夫婦が忙しい日々を送る時、感謝することは神様が子供達を親切に御言葉と愛で見守ってくださいました。一番上の子は青少年の時期に週末になると恵と真理教会に行って楽しい時間を過ごしました。熱心に礼拝をして奉仕する子供達の大学入試のため切に祈ったら高い競争率を乗り越えて合格して神様の栄光を見るようになりました。二番目の子は家で一人でいる時間に海外漫画の字幕で英語の勉強を熱心にしました。そんな二番目の子を見ながら“神様！留学の道を開いてください。”と祈ったら、私が学院を開いた時、驚くなことで神様の助けで下さり、留学の道を開いてくださいました。
熱心に勉強をする学生達を見ながら私が教会で教師として奉仕する心を思い主日に教会学校に探しに行って相談する計画が立てましたが、神様はすぐ節理してくださいました。次の日に急に教会学校の先生の一人が教師として奉仕する考えはないかと教師を勧める連絡が来ました。
主のことはいつも正確です。いつか金曜祈りの会から帰ってきて道路沿いに駐車してしばらく車の中を調べている時 反対側の車線から中央線を越えた車がわたしの車の運転席のドアを強く衝撃する事故がありました。私が１，２秒だけ早くドアを開けたならば、大きい事故にあいそうでしたが、そんな危機から私を守ってくださいました。それだけではありません。
大腸癌になった義理の姉のため信仰で捧げた祈りに答えてくださって治療してくださり、義理の姉が今まで健康に生きるようにしてくださった神様、感謝します。事業場を処分しながら期間を決めて捧げた祈りを聞いてくださり、摂理してくださった神様に感謝を捧げます。問題で断食祈りをして礼拝を参席するなら私が黙想した御言葉で当会長の牧師が説教してくださり、溢れる恵を受けるようにしてくださったことも感謝します。伝道した方々が教会で職分を受けて熱心に主の事をする姿を見るようにしてくださって感謝します。祝福をすることで神様が答えて下ったことに感謝捧げます。全ての家族が集まって顔を見合わせて食事を共にする時間が大事だと大きく悟ったことも神様の恵みです。
今わたしの人生は主の恵で溢れています。融和で慈しみ深い神様を体験してまた練達させる神様を体験してこれからは賞を下さる神様を希望して見上げます。全能なる神様が私たちの全ての祈りを聞いてくださり、私達に一番良いときに一番良いことで福を与えてくださる真実な神様を信じます。“イエス様よりもっと大事なことはないこの世と変えられません。”この賛美歌１０２章は主に対する真実な信仰告白であり、わたしの心から出る限りない感謝の歌です。
“暗くて冷たいこの地の上に明るい灯火を照らして真な真理を教える美しいわが教会よ。全てが来いと呼ぶ主の声が聞こえる。感謝賛美で充満な恵みある数年の前、初めて区域長のセミナーに参席したとき田園聖殿に鳴り響く福音賛美歌の歌詞と曲調が今もわたしの心臓をとこめかします。誰よりも神様を愛し誰よりももっと神様の愛を受けて首区域長達がくれる御言葉にアーメンで答えて一つの声で感謝の賛美をする姿で私は言葉で表現できない感動と恵を受けました。そのような私たちが集まって熱く礼拝して愛しながら熱心に福音を述べ伝える我が教会がとても良いです。
神様の恵みを考えば考えるほど私があまりにも足りなくて弱い存在であることを悟ります。生徒らしい教養と品位をそろって世の中でキリストの香りをする人々に主の手紙で読まれるように切に祈りながら全ての栄光を神様に捧げます。ハレルヤ！

［信仰コラム］　イエスキリストによる信仰

＂信仰の導き手であり，またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ...＂（ヘブライ書 12:2）

自然現象や自分の身体技能そして家族や隣の人に対する信仰が全て喪失されてしまうなら、その人は正常的な活動ができないだけではなく一時も安定した心を維持できないでしょう。信仰は人に生存のための能力であり、必須的な要素です。そして信仰はそれに相応する結果をもたらします。その結果がごく重いこともあります。人が必ず持つべきの重大な信仰と、その信仰の出処と根元に対して調べてみます。
本文に＂信仰の導き手であり，またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ＂としました。
＂信仰の導き手であり，またその完成者であるイエス＂という御言葉を＂イエス様は信仰の出発点であり終着点になる。＂、＂イエス様は信仰の創始者であり完成者でおられる。＂、＂イエス様は私達が必ず持つべきの信仰を持つようにしてくださるだけではなく、その信仰通りになるようにしてくださる方だ。＂と説明することができます。イエス様による信仰を持つためにはイエス様を仰がなければなりません。聖書はイエス様に対する記録です。従って、心を開いて耳を傾け聖書に記録されたイエス様について聞く人は驚くべきで奇異な信仰を持つようになり、その信仰通りに叶えられるのを経験します。
イエスキリストによって私達が持つことができる信仰はその内容が多用であります。その中で六つだけ調べてみましょう。
一つ、贖罪の信仰です。全ての人は神様の前で罪人です。このような人生達のために神様が救い主イエス様をお送りなさい、私達の罪を贖ってくださいました。人が罪から自由を得る道はキリストイエスによる贖罪を信じる信仰以外にはありません。ローマ書 8 章に＂キリスト･イエスにある者は罪に定められることがない＂としました。
二つ、とこしえの命の信仰です。この世で生きる間にとこしえの命を得られないと肉親の死が第二の死に行く関門になります。肉親の死は初の死です。最後の審判を受けて火の池に投げ込まれることが第二の死亡です。とこしえの命を得た人々はイエス様の再臨の前に死んでも、イエス様の再臨の際に生きていても全て第二の死がありません。とこしえの命の信仰はひたすらイエスキリストによります。
三つ、神様の子になった信仰です。ヨハネによる福音書 1 章 12、13 節に＂しかし，彼を受けいれた者，すなわち，その名を信じた人々には，彼は神の子となる力を与えたのである。それらの 人は，血すじによらず，肉の欲によらず，また，人の欲にもよらず，ただ神によって生れたのである＂としました。神様から生まれる神秘な出生をした人は神様の子になり神様を父親だと呼ぶようになります。
四つ、神癒の信仰です。イエス様の贖いの恵みの中には私達の惰弱と疾病の治癒も含まれています。イエス様はこの世におられる時、弱い者と病んだ者を数多く癒されました。イエス様が病んだ者は治療を受けるためにお祈りしなさいと言われ＂信仰による祈は，病んでいる人を救い， そして，主はその人を立ちあがらせて下さる＂としました。
五つ、神様の助けを信じる信仰です。この世には絶えず誘惑と逼迫、艱難が迫ってきます。しかし、神様が私達と共におられてくださり手伝ってくださると言われました。従って私達はヘブライ書の記者のように神様の助けを信じる信仰を持ってこのように言うことができます。＂だから，わたしたちは，はばからずに言おう，／「主はわたしの助け主である。わたしには恐れはない。人は、わたしに何ができようか」＂。
六つ、天国と復活に対する信仰です。イエス様は＂悔い改めよ，天国は近づいた＂と叫ばれました。イエス様によって天国に対する信仰を持った人は実際に天国の光栄の中に居するでしょう。
イエスキリストによる信仰があるか否かということはこの世と永遠な世まで及ぶ重大な結果をもたらします。イエスキリストは私達に贖罪、とこしえの命、神様の子になること、神癒、神様の助け、天国と復活に対する信仰の出処と根元でありまた、このような信仰を持った聖徒にその信仰通りになるようにしてくださいます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

失敗を乗り越えて再起したペテロ

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人生の成功と失敗は、神との関係によってなります。聖書には、神との関係で非常に素晴らしい、完璧な模範になる人がいれば、失敗を乗り越え再起したので模範となる人もいます。失敗を乗り越えて再起した人が経験した過程を見てみると、私たちは弱い人生をあわれんおられる神の愛に感動します。今日は失敗を乗り越え再起した人々の中に、イエスの弟子ペテロを見てみましょう。

イエスの弟子たちの中でペテロは特別でした。ペテロが教会でどのような重要な役割をするのかを知ることでくれる出来事がマタイ 16 章に記録されています。**イエス が ピリポ・カイザリヤ の 地方に 行かれたとき， 弟子たちに 尋ねて 言われた**，その場所で、イエスが弟子たちに質問されるのを**「人々は 人の 子をだれと 言っているか」**した後に**「それでは，あなたがたはわたしをだれと 言うか 」**と質問しました。弟子たちの中にペテロがスポークスマンのように立ち上がって答えました。**「あなたこそ， 生ける 神の 子 キリスト です 」**ペテロの答えは簡単ですが、完全な信仰告白です。イエスすぐ言われた**「バルヨナ ・ シモン ， あなたはさいわいである． あなたにこの 事をあらわしたのは， 血肉ではなく， 天にいますわたしの 父である」と**しました。

続いて言われた **「そこで， わたしもあなたに 言う． あなたは ペテロ である． そして，わたしはこの 岩の 上にわたしの 教会を 建てよう． 黄泉の 力もそれに 打ち 勝つことはない」**しました。この言葉は、**「**主は **生ける 神の 子 キリスト です」**」という信仰告白の上に教会を建てられたことを意味します、一方では、ペテロが初代教会で伝道と教会設立の基礎を立つ役割をすることを予告したのです。果たしてペテロはペンテコステの日にエルサレムに集まったユダヤ人に福音を伝えたので、3 千人が、悔い改めて、イエス・キリストを受け入れるようになりエルサレム教会の設立に重要な役割をしました。そして異邦人コルネリオの家に行って、そこに集まった異邦人に福音を伝え、異邦人が悔い改めて、イエス様を受け入れるようになる役割もしました。ペテロはユダヤ人と異邦人が天国に進むようにドアを開ける重要な役割をしたわけです。

このように、福音を伝えるに大きな役割をしたペテロであるが、彼には話すことができず、恥ずべき失敗の経験がありました。

エルサレムでイエスが弟子たちと夕食を終えた後、弟子たちを連れてオリブ山に行かれました。イエスが十字架で死なれる前に祈るためでした。イエスは弟子たちに、

言われた「今夜、あなたがたはすべてが私を捨てる」としました。弟子たちは大きな衝撃を受けたペテロは、イエスの言葉を到底に納得できませんでした。 「すべてが主を捨てるでも、私はいつでも捨てません」と豪語しました。

するとイエスはペテロに向かって、「私はあなたに言う。今夜　鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを否認するだろう。」と言われました。ペテロはすぐにこれを否定しました。 「主よ、私は刑務所でも、死ぬでも主と一緒に行く準備ができています。」としました。ペテロは本気を言ったのだが、その心がそのままに実行されるのが、決して容易ではないことを考えていなかったです。

ゲッセマネの園でイエスが捕縛されたので弟子たちは皆が逃げました。ペテロは逃げている途中に再び心を収拾イエスが苦難を受ける現場であるカヤパの家に行きました。その夜に大祭司カヤパの家には、イエスを尋問するためにサンヘドリン議会が招集されました。カヤパの家の庭にあったしもべたちが炭火をたきました。ペテロも立って炭火にあたっていました。そのときにしもべがペテロを見て言った、「あなたもガリラヤ人イエスと一緒にいたでしょう」したので、ペテロが人々の前で否認し言うのを「あなたは何を言っているのか分からない。」しました。

そして、正門で出ていく時に、他のしもべが彼を見て、そこにいる人々に言った、 「この人はナザレ人イエスと一緒にいました。」するとペテロが誓って再び否認するのを「私はその人を知らない。」しました。しばらくそばに立ってい者が近づいてきて、ペテロに言った、「本当にあなたも彼らに属している者だ。あなたの言葉遣いを聞いてみると確実である。」したので、ペテロが呪いで誓いを「私はその人を知らない。」と言うと、すぐに鶏が泣きました。ペテロは、自分の決意と意志が、これほど薄弱なのかを知らなかったのです。ペテロは、イエスが彼に、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを否定するものである。」と言われたことが思い出されて外に出て激しく泣きました。

その夜、イエスは大祭司に尋問を受け、死刑に相当する罪に定めました。その後、総督ピラトに渡しれ悲惨な尋問を受けて十字架にくぎ刺さる執行を受けました。しかし、イエスご自身が何度も予告されたとおり墓に葬られてから三日目に死の力から復活しました。復活されたイエス様は、弟子たちが集まった家に二度現れました。しかし、まっすぐそれらを離れました。弟子たちは、以前のように、イエスを追いかけるとしても、主がどこにおられるか知ることができないので、今何を、どのようにしたらよいか分からなかった。

弟子たちはエルサレムからガリラヤに戻りました。

ペテロをはじめいくつかの弟子たちがテベリヤの海に魚をとりに行きました。ところが、一晩網を投げたが、 魚 一匹も取れていない。いつのまにか日が明るくなってきました。その時、イエスは弟子たちのところで 100 メートルほど離れた浜に立っておられました。弟子たちは、イエスであるのをまだ知らないでした。イエスの弟子に向かって言われた、「網を船の右側に投げよそうすれば、 魚が取るだろう」としました。弟子たちが船の右側に網を投げたところ、網を引き上げることができないほど 魚がたくさん取れました。その瞬間、ヨハネがペテロに、「あの方が主である。」と述べました。その言葉を聞いたペテロが上着をかけて海に飛び降り泳いで行く他の弟子たちは、船を漕いで陸に出ました。

イエス様がおられるところに行ってみる、そこに炭火がたいていて、その上に魚が置かれであり餅もありました。弟子たちは、実際に、イエスをお会いたので照れくさいペアがありませんでした。

ペテロはイエスと人々の前でイエスを知らないと三度も否認していた事により、心がすごく重かったイエスを見るのが恥でした。

彼らの朝食を食べた後、イエスがペテロに質問されました。 **「イエス は シモン・ペテロに 言われた， 「ヨハネ の 子 シモン よ，あなたはこの 人たちが 愛する 以上に， わたしを 愛するか 」． ペテロ は 言った，「主よ， そうです． わたしがあなたを 愛することは， あなたがご 存じです 」． イエス は 彼に「わたしの 小羊を 養いなさい 」**としました。**イエス二番目に ヨハネ の 子 シモン よ， わたしを 愛するか 」． 彼はイエス に 言った， 「主よ， そうです． わたしがあなたを 愛することは， あなたがご 存じです 」． イエス は 彼に 言われた，「わたしの 羊を 飼いなさい 」**としました。

イエス は 三度目に 言われた， **「ヨハネ の 子 シモン よ， わたしを 愛するか 」． ペテロ は「わたしを 愛するか 」と イエス が 三度も 言われたので， 心をいためて イエス に 言った」** としました。

ペテロが心配して答えを「**「主よ， あなたはすべてをご 存じです． わたしがあなたを 愛していることは， おわかりになっています」イエス は 彼に 言われた， 「わたしの 羊を 養いなさい」**としました。イエスが海辺に炭火を咲かせておいものとペテロに同じ質問と主の羊を飼う任務を授けるという言葉を三回した理由は何ですか？これは、イエスを知らないと三度否認したペテロの罪の悪感をきれいに除去していただくためです。

イエスの会話を終えた後起き弟子たちに「私に従いなさい。」としました。この召しの要求は、イエスが弟子たちを最初に選択する際に言われています。イエスはペテロをはじめ、弟子たちを新たな出発点に立てたのです。 「さあ、これで、新しい出発だ。前日の失敗による失敗意識はすべて脱ぎ捨て新たなスタートをしなさい。」と言われたのです。数日前、ペテロは人々の前で、イエス・キリストを知らないと否定した者です。 「主よ、主はすべてのことをご存じです。私が主を愛することを主がご存じです。」と言ったペテロの告白は適切です。主は、私たちがすべて土器と等しいのを御存じ、心は願うのが体が弱さを御存じです。私たちの主イエスは、主の心を傷つけた人生であっても、主への愛の告白をすることにより、再起するようにしておらます。

イエスを変わらず愛して信じることは、人間の決意と意志のみでなるのではありません。神の恵みが臨まなければなりません。聖霊様の助けがあらなければなりません。その後ペテロはペンテコステの日に聖霊の満たしを受けました。それから、ペテロはまぶしい活動をしました。大胆に情熱的に福音を伝えました。最後には、殉教としての彼の人生を飾りました。ペテロは大きな誤りを犯して失敗の苦杯を飲んだが、イエスを信頼して愛する心は変わらなかったです。そして失敗を乗り越え再起しました。

あなたはペテロを介して得た教訓を心に置くことにより、私たちの主イエスの限りないあわれみと恵みを頼りに失敗を再起の機会にして前進してください。そして、最終的に、主の御心に完全にふさわしく生きるのを願っております。